

Monthly Report

2019年6月号

特集
雨の季節は
スリップに注意!



今年も、梅雨入りの時期となりました。この時期は9月の秋雨期と並んで、1年の内、降雨量の多い時期にあたります。降雨が運転に与える影響は大きく、首都高速のデータによると、事故発生率は晴天の4倍(※1)にもなっています。

今号は、雨で滑りやすくなった路面とそれに接するタイヤに着目しました。この時期を安全に運転するための参考にしてください。



高速道路で突然の雨にブレーキを踏む車両

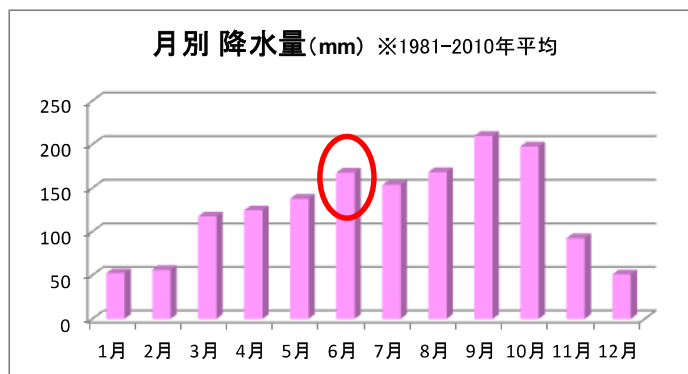
※1.首都高ドライバーズサイト <https://www.shutoko.jp/use/safety/driver/rain/>
(2019/5/14閲覧)

1. 雨天時のブレーキ

右のグラフから、6月には降水量が増え雨天に走行する機会が多くなることが分かります。(※2)

降雨による影響は多岐に亘りますが、その内、最大なものがブレーキを掛けた際の制動距離です。

時速100kmで直進走行中にブレーキテストを行うと、残り溝が法令基準内(※3)のタイヤでも下図のように大きな差が生じます。(※4)



※2.気象庁HP「過去の気象データ検索(1981~2010年)」より当社作成
(2019/5/14閲覧)
http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/nml_sfc_ym.php?prec_no=44&block_no=47662



※3.法令基準:「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」において、タイヤの溝は1.6mm以上の深さを有することが求められています。(国土交通省告示第619号、第167条4)

※4.夏用タイヤ(2分山:山が2割ほど残った状態)、時速100kmの実験例。時速60kmの場合、15.8m(ドライ)→18.0m(ウェット)となります。
JAF Webサイト「JAFユーザーテスト、摩耗タイヤの検証」<http://www.jaf.or.jp/eco-safety/safety/usertest/baldtire/detail1.htm> (2019.5.14閲覧)

2. タイヤの重要点検項目

このように濡れた路面では、法令基準を満たすタイヤでさえ制動距離が増加します。不適正なタイヤの使用で、更に危険を招くことのないよう、以下の3つの点検ポイントにご注意ください。

① タイヤの溝

溝が浅くなったタイヤは、タイヤの排水機能が低下し滑り易くなります。すり減ったタイヤで濡れた路面を走行するとスリップやハイドロプレーニング現象(※5)につながり大変危険です。

スリップサインが出たら、速やかにタイヤを交換しましょう。

※5.ハイドロプレーニング現象:水のたまった道路の走行時、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが水面を滑走する現象。車がコントロールできなくなります。



スリップサインと位置を示すマーク

② タイヤの老朽化

タイヤの傷や、片寄った摩耗が危険であると同様に、外觀上に問題が無くても、製造後10年を経過したタイヤ等は交換することが推奨されています。(※6)

※6. (一社)日本自動車タイヤ協会「タイヤ安全ニュースNo76」

※タイヤの製造年週はタイヤ側面に記載されています。(下2ケタは西暦製造年の下2ケタ。右の写真は2008年の43週目に製造の例)



タイヤの製造年を示す表示

③ タイヤの空気圧

空気圧が適正でないと、タイヤ本来の機能が発揮できません。1ヶ月に1回程度、空気圧の点検を行いましょ。適正な空気圧は車により異なり、国産車では運転席側のドアにメーカー指定の数値が表示されています。

3. 雨の日の安全運転のために

濡れた路面は滑ることを十分に考慮し、常に先の状況を予測して運転することが重要です。以下の基本を押さえて安全運転を継続しましょう。急ハンドルや急ブレーキも厳禁です。

◎**スピードを落とす** …… 制限速度を厳守し、通常より速度を落として走行する。

◎**十分な車間をとる** …… 晴天時より、長めの車間距離をとる。

<参考>

適切な車間距離は最低2秒必要(警視庁)等といわれていますが、特に雨天時には余裕を持って最低3秒の車間距離をお勧めします。3秒の車間距離とは、先行車両が通過した地点を、自車両が3秒後に通過するような車間距離を指します。



損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

ホームページ <http://www.sjnk.co.jp>

SOMPO リスクマネジメント株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1

ホームページ <https://www.sompo-rc.co.jp>

お問い合わせ先

帝人エージェンシー株式会社 保険部

〒550-8587

大阪市西区土佐堀1-3-7

肥後橋シミズビル16階

TEL 06-6459-5100 FAX 06-6459-6045

E-mail hoken@teijin.co.jp